



平成30年5月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア サ カ 理 研  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 田 慶 太  
(コード番号:5724)  
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 管 理 本 部 長 佐 久 間 良 一  
TEL. 024-944-4744(代)

**平成 30 年 9 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ**

当社グループは、平成 29 年 11 月 10 日に公表しました平成 30 年 9 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 予 想 と、本 日 公 表 の 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で、下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 30 年 9 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 予 想 と 実 績 の 差 異 (平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,164	121	121	86	33.76
実績 (B)	4,576	238	250	191	75.00
増減額 (B-A)	412	117	129	105	41.24
増減率 (%)	9.9	97.4	107.0	122.4	122.2
(ご参考) 平成 29 年 9 月 期 第 2 四 半 期 実 績	4,283	68	57	171	67.37

2. 差異の理由

主力製品である、貴金属及び銅の相場が当初予想を上回る水準で推移したこと及び製造工程の自動化等効率改善効果により、売上高及び各段階利益において当初予想を上回りました。

3. 通期見通しについて

通期の連結業績予想においては、上期業績を押し上げた貴金属及び銅の相場の先行きが不透明であることに加えて、下期に予定していたレアメタル量産販売は、顧客の認証が進み販売先が拡大したものの、対象製品の需要が当初予想より減少しており、今期の販売が不透明なことから、当初予想から修正はありません。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上